

【 質 問 】

実際、脱水は苦痛を伴うのか伴わないのか。いろいろな文献を見ましたが、意識障害が生じてくると痛みや苦痛は感じないとあったり、それまでの段階を考えると苦痛が出てくるなど、様々な説があるのですが。

【 回 答 】

*医師1

私が見ている限りでは、意識がある時は苦痛で本人が水分を要求する。それだけでなく、口の中が荒れるとか、飲みたいけど飲めない、食べたいけど食べられないといった不満苦痛を訴える。意識がなくなったときは、欲しがるような動作が見られないので、苦痛はないのかなと理解している。

*医師2

意識がない時は、傍目でみると口が乾いていたり苦痛に見えるが、最後の段階ではあまりないのではないかな。

ただ、私は悩んでしまい、だらだらと点滴を続けてしまうこともある。それは家族の満足などもある。点滴を続けた場合、延命と言う意味では多少伸びるものの、それで治ることではないので、ほどほどに。

*医師3

元気な人がマラソンなどで急激な脱水をした場合は、点滴をして楽になるが、ゆるやかに食べられなくなった人は生態的な機能が徐々に落ちている状況で、水分補給や栄養補給をしてもそれをこなす体力がなく、オーバーフローとなってしまう。逆にいうと、浮腫が出たりといった状況が見込まれる場合は、点滴が害をしている可能性が十分考えられる。迷った時は何日かやってみて改善があるか、本人が楽になるか、そこを評価して控えるか控えないかを考えたほうがよい。

点滴も胃ろうも始めたら終わりがないので、始める前に終わる基準を決めておく。改善する目標が必要ではないかと個人的には考えている。